

文学研究科 英文学専攻

【中学校専修免許状（英語） 高等学校専修免許状（英語）】

①教員養成の目標

本専攻では、英語教員として必要な資質能力を確実に身につけさせるために、

- (1) 確実な英語力を育成する。
- (2) 英語の指導力を高める。
- (3) 多様な価値観を認めながら人々が共存する 21 世紀世界において、英語という世界共通の言語の教育者としてふさわしい国際的な視野と複眼的なものの考え方を身につけさせる。
- (4) 人間教育に携わるものとして、より深い人間理解に努めさせ、かつ相応しい社会性、豊かな人間性を育ませる。

などを中心理念・構想として、すぐれた英語教員を本専攻から輩出するよう、その育成に力を注いでいる。英語教員志望者や教員経験者の入学を積極的に受け入れ、また、すぐれた小学校教員の育成をめざしている。

②当該目標を達成するための計画

以上の回答は中学校専修（英語）、高等学校専修（英語）共通にする。

- (1) の目標達成のため、(a)専攻提供の全科目において英語による読解、音読、作文、ネイティブ・スピーカーによる授業の履修をとおして、読む、話す、聴く、書く、の四技能を合わせた英語の能力を総合的に高める訓練を行っている。また、(b)修士論文を英語で書き、英語をよりの確に書く訓練を行なっている。
- (2) の目標達成のため、学部の授業にティーチング・アシスタントとして活躍する場を与え、個人指導やクラス単位の授業の補助を通して、指導を体験する機会を与えている。
年度の途中（9月下旬）に開催される修士論文中間発表会において、博士前期課程修了予定者は、大学院担当教員全員および在籍中の学生全員の前で、修士論文の中間発表を行う。
- (3) の目標達成のために、専門研究に偏らせず、イギリス文学研究、イギリス文化研究、アメリカ文学研究、アメリカ研究、言語・英語研究ならびに関連諸分野を多岐にわたって履修するよう指導している。